

社会の一員としての自覚と、その責任の遂行

ワタミ株式会社 ビジネスサービスグループ グループ長 辰巳 正吉



■障がい者雇用

2009年度は、特別支援学校の先生にご協力いただき、16名の障がい者就労実習を行いました。その内の13名が卒業後、アルバイト、パートさんとして働いてくださっています。就労実習は春、秋の年2回行います。特別支援学校様からは、就労実習を受け入れてくれる企業が少なく、今後もぜひ継続してほしいと感謝のお言葉をいただきました。

2010年度は、昨年に引き続き就労実習を27名実施しています。特に介護事業での受け入れを推進しており、今期の実習生の内20名は介護施設での実習を行なっております。1施設1名の雇用を目標に採用を進めてまいります。

また、外食事業での雇用を拡大するために、障がい者雇用担当者を選任し、外食店舗での雇用の可能性を模索中です。今後もグループ各社で一人でも多くの方を継続的に雇用できるように進めてまいります。

■ボランティア

グループ社員は、「一年に一度ボランティアをしよう」の合言葉を基に活動しています。新入社員研修のカリキュラムにボランティア研修を入れ、新入社員全員がボランティア活動を経験しました。既存社員はお食事会や施設バザーへの参加を中心に活動を実施しました。

2010年度は例年の活動に加え、より社員の自主性を尊重できるように、お食事会、施設バザー以外のボランティアにも積極的に参加をする予定です。

また、地域活動に貢献することを目的として、ワタミ本社ビルのある大田区主催のボランティアに多く参加をする予定です。

主な取り組み		2009年度目標	2009年度結果	評価	2010年度目標	
全社員ボランティア活動	全社員ボランティア活動	ボランティア参加人数(率)(※1)	100%	62.2% (1,846人)	×	100%
	わたりみ北海道自然学校の開催	参加者全員が夢作文記入と夢発表	参加者全員が夢作文記入と夢発表	○	参加者全員が夢作文記入と夢発表	
	ワタミふれあいカードでの寄付(※2)	国内外食店舗での利用総額の1%相当を社会貢献に使用	4,566千円を寄付	○	国内外食店舗での利用総額の1%相当を社会貢献に使用	
	ワタミふれあいカードでの寄付(台湾和民)	利用総額の1%相当を社会貢献に使用	89千NT\$ (247千円)を寄付	○	利用総額の1%相当を社会貢献に使用	
社会貢献活動	NPO(SAJ) 支援(※3)	継続して支援を実施	外食店舗での募金箱設置 3,903千円 従業員から寄付 41,577千円 グループ各社による法人会員寄付 840千円	○	継続して支援を実施	

○達成、×未達成、一該当なし
 (※1) 対象はワタミ(株)、WFS、T.G.I.F.J、ワタミの介護、WTMD、ワタミファーム、ワタミエコロジーの7社。
 (※2) 対象は日本国内のグループ外食店舗。
 (※3) 公益財団法人 School Aid Japan(SAJ)は2009年4月に公益認定を取得し、2009年12月よりNPO法人スクール・エイド・ジャパンが行っていた全ての事業を引継いで活動を行っています。上記数値はNPO法人スクール・エイド・ジャパンおよび公益財団法人 School Aid Japanへの寄付の合計額です。(対象は、国内企業9社)

ボランティア体験を研修カリキュラムに

1997年4月に、横浜ボランティア協会との協力で新入社員が地域の作業所を訪問し、ボランティア活動を行うプログラムを導入。以来、新卒社員の入社時研修として毎年4月に実施しています。

2009年度はグループ社員268名が36カ所の作業所・施設で研修を行いました。

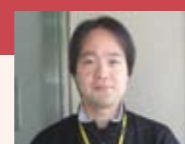
授産品代行販売

ワタミグループでは、ハンディキャップのある方々の社会参加の後押しを目的に、1999年6月より「和み亭」や「饗の屋」の外食店舗にショーケースを設置し、「授産品」の販路を広げるお手伝いをしています。また2005年度より、定時株主総会でも授産品を販売するスペースを用意させていただいています。

2009年度は、17店舗にて487千円を代行販売させていただきました。



「饗の屋」南蒲田店での販売の様子



VOICE

授産品を供給してくださっている施設様の声

社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
大田区立くすのき園 支援員 広瀬 健次郎様

私たちの施設では、知的障がい者の方の生活支援、社会的支援を行っています。その中で、一番の課題が自主生産品(授産品)の販路の拡大です。施設利用者の方がたとえ一生懸命つくったとしても、販路がなければ、工賃を支払うことができず、働ける場面も限られてきてしまいます。

そして今、その販路は圧倒的に少ないと感じており、毎日、何とか販路を拡大するための模索を続けています。「利用者の方に、少しでも多く仕事をする達成感や、誰かに喜んでもらえて嬉しいという気持ちを感じてもらいたい」そのような思いで、日々仕事をしています。

ワタミさんには、販売場所の提供の他にも、授産品の材料となる「ワタミの森」の間伐材の提供や、ボランティアなど様々なことにご協力いただいております。本当に有難いです。今後とも、宜しくお願いいたします。

介護ボランティアの実施

ワタミでは、2006年度より外食事業の社員向けに介護施設で行うボランティアを開始、以降継続して介護ボランティアを実施しています。

介護ボランティアでは、レクリエーション(お寿司キャラバン、納涼祭、居酒屋キャラバン)への参加や傾聴、清掃、またお食事を一緒にするという体験をさせていただいており、2009年度は、ワタミ(株)、WTMD、外食事業の社員が参加、計7回実施し20名の社員が参加しました。

保育ボランティアの実施

ワタミでは、2008年度より児童館などの施設で、子どもたちとめり絵やパズルなど様々なレクリエーションを通して一緒に触れ合う保育ボランティアを開始しています。

2009年度は、静岡県・豊田児童館にて料理教室を行い、7名の社員が参加しました。

農業インターンシップの実施

1999年度より、学生を対象に「農業インターンシップ」を実施してきました。農業インターンシップの目的は、単なる収穫の補助だけでなく、日本農業に対する理解の促進や、若者に「働く」「自然」「農業」「仲間」と向き合う機会を提供することを目的として実施しています。

2009年度は、帯広大正農協様をはじめ37農家の方々の協力を得て、農産物の収穫や箱詰め作業などの農作業を実施し、108名の学生が参加しました。

学生の受け入れ

ワタミファームでは2004年度より、有機農業への理解促進を目的として、学生や法人の受け入れをしています。2009年度は、山武農場での中学生受け入れや、高校生への農業指導(屋上緑化)を実施。

また、郁文館夢学園様の修学旅行のプログラムの一環として高校生を受け入れ、畑での播種をはじめ牧場での搾乳などを実施しています。法人では、JA様や製菓メーカー様などの社員を農業研修として受け入れ、今後、農業生産法人を設立するための研修や、農業を通じた社員研修などのプログラムを実施しています。

1%クラブ

1997年8月より、(社)日本経済団体連合会の1%クラブ(経常利益の1%相当額を、自主的に社会貢献活動に支出しようと努める企業や個人の連合会)に加入し、目標数値をもってプログラムを推進しています。

1%クラブ <http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/1p-club/>

地域清掃・美化活動の実施

外食店舗では、毎日の店舗周辺の地域清掃に加え、各地で開催される定期的な清掃イベントにも参加しています。

2009年度は、261名の社員が清掃に参加しました。またWTMDにおいては、「地域に根ざした活動を行う」ことを目的として、研修が行われる際に、毎月1回、定期的に本社ビルの前や各手づくり厨房のセンター付近の清掃を行っています。

またワタミファームにおいては、農道などの共用スペースや荒地になっている所の除草作業のボランティアを実施しており、2009年度は、30名が参加しました。地域の活動に参加することで、地域との関わりを深めることを目指しています。



ビーチクリーン(検見川の浜)



ワタミ本社がある大鳥居駅前清掃の様子 10分間の清掃活動により集まったゴミの山

ふれあいカードによる寄付

1996年度より「未来の子どもたちのために」をテーマに導入した「ふれあいカード(クレジットカード)」を通じて、国内ワタミグループでの利用総額の1%相当を社会貢献に使用させていただいています。

2009年度は、NPO法人「スクール・エイド・ジャパン」に4,566千円を寄付させていただきました。

